

総務建設経済常任委員会報告

地域活動を支える“グリーンスローモビリティ”の活用について

町民課へのヒアリング

4月17日

各地区で役員のなり手が減少、定数維持が難しくなっている。引継ぎの負担軽減に向けたマニュアル整備の取組み状況を確認。

事業者との意見交換

5月30日

「町内の介護事業者」との意見交換。移動支援手段としてのグリーンスローモビリティに高い関心を持ち、次年度の導入検討あり。

シェアにのみや（議会報告会）

5月31日

報告会で千葉市視察の動画を上映した。



グリーン
スローモビリティ
を委員
全員が試乗運
転

視察研修

6月24日～25日

○静岡市葵区

あさはた緑地【流域治水】

豪雨時、下流の市南部に大量の水が流れないように越流堤を設け遊水地機能を発揮する。平時は自然と共生する公園。



○掛川市

ヤマハモーターパワープロダクツ（株）【交通】

グリーンスローモビリティのコンセプトや全国の普及状況などの説明を受け、試乗体験した。

○富士宮市

家康公用水発電所：東京発電（株）

白糸滝養魚場小水力発電所【環境】

民間の発電事業者と個人事業者の発電所と2か所を視察し、設置や運用の課題等を学ぶ。

教育福祉常任委員会報告

●教育における子どもの権利

大和市不登校特例校分教室を視察

5月22日

首長のトップダウンで引地台中学校の分教室として、3年前に県内公立校初の開設。小学校の別棟を活用。全学年合わせて30名。教室は寝ながら授業を受けられるよう絨毯と大きなクッション。理科室は調理室に変えた。勉強より学ぶ楽しさを教えることに力点を置き、一人ひとりの状況に合わせて無理なく学校生活が送れ、社会的自立に繋がることを目指す。地域住民とも交流している。生徒のデータは卒業後も10年間保存し成長を見守る。



調理実習はレシビから国語
や数学の授業に展開

鎌倉市立由比ガ浜中学校

（学びの多様化学校）を視察

7月2日

若き文科省出身の教育長と推進チームで今年4月開校。文科省指定の分校型は県内初。家具は全てIKEA製。校内フリースペースや個性に応じた学習プログラムなどを実施。定員30名に10名程のスタッフ（教員・スクールカウンセラー、養護教諭も）。通常の中学校の年間授業時間数1,015時間に対して、770時間に削減。寄贈の3Dプリンターが2台あり、生徒の創造する力を存分に発揮させていた。出席率は83%と当初見込みより高い。

「学校に来られて、友だちができて嬉しい」という生徒の言葉にスタッフ一同泣いたという。



視察が殺到し、上越市議会
と一緒に説明を受けた

●地域包括ケアシステムのこれから

2月に社会福祉協議会にヒアリングし、課題を共有。4月に社協への支援について町担当部署と意見交換。